

## 大阪 21 世紀の新環境総合計画の点検評価結果（毎年度サイクル）

## ～環境総合計画部会報告～

大阪 21 世紀の新環境総合計画（以下「環境総合計画」という。）の進行管理のため、平成 27 年度において、豊かな環境の保全及び創造に関して講じた施策について、環境総合計画の全分野の主な施策事業の点検評価、及び「低炭素・省エネルギー社会の構築」・「健康で安心して暮らせる社会の構築」の分野を対象とした重点的な点検評価を、環境総合計画部会において実施しました。

なお、「低炭素・省エネルギー社会の構築」の分野を対象とした重点的な点検評価については、大阪府環境審議会温暖化対策部会において、毎年度、専門的視点による進捗管理が行われているため、今後本部会では実施しないこととなりました。

## ○ 点検評価結果の概要

[日時場所] 2016（平成 28）年 9 月 5 日（月） 10:00～12:00

大阪府咲洲庁舎 30F 共用会議室

[参加委員] 石井実（部会長）、貫上佳則、岩屋さおり、島村健（敬称略）

## &lt;点検評価の概要&gt;

府による自己点検評価の結果について、以下の資料に基づき、環境総合計画部会で点検評価を実施。

- ・ 点検評価表 : 主な施策事業の実績、進捗、自己点検評価結果・課題、改善の方向性等を記載
- ・ 施策報告「平成 27 年度における豊かな環境の保全及び創造に関して講じた施策」（案） : 環境の状況、施策・事業実施状況を記載
- ・ 重点分野の施策実施状況報告 : 各分野の目標、現状、施策の方向ごとの事業実施状況等を記載

## &lt;点検評価の結果&gt;

- ・ 施策事業は概ね順調に進んでいることが確認された。
- ・ 主な指摘事項・意見、及びこれに対する府の回答は次のとおり。

○個別の施策事業（重点分野を除く）の点検評価

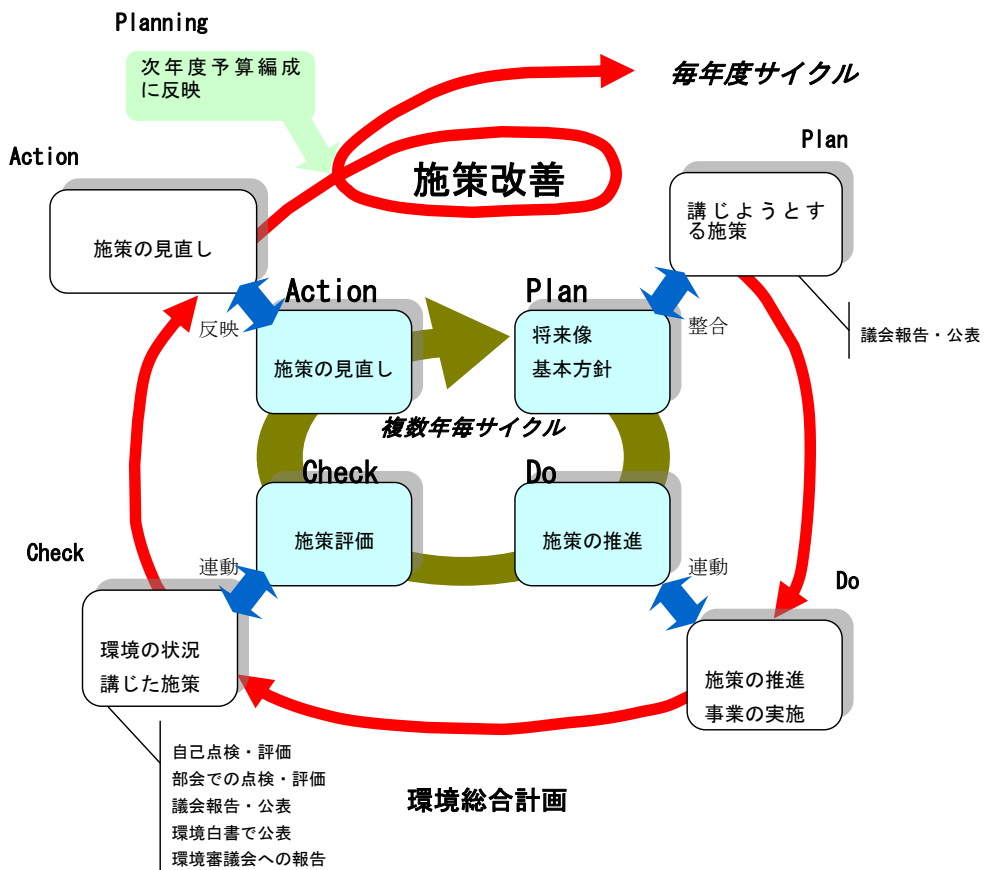
施策事業名	指摘事項・意見	府の回答
全般	進捗状況を想定以下と自己評価した施策事業について、その原因解析・対応策が重要。	ご指摘を踏まえ、今後の点検・評価シートを作成する際、留意する。
大気汚染防止の事業所規制	取組指標である立入件数について、昨年度と今年度の数が同程度であるにもかかわらず、自己評価に違いがある。これは、指標値（立入件数）の変更によるものだが、それがわかりにくい。	ご指摘を踏まえ修正を行った。
循環型社会推進計画の推進	進捗状況を想定以下とした理由を記載すべき。	ご指摘を踏まえ修正を行った。
「府民の参加・行動」全般	<p>府民の参加・行動に関わる事業は人件費のみで行っているような小さな規模の事業も多く、点検評価資料に掲載されていないか、掲載されていても各分野の取り組みの中に埋もれて、目立っていないので、分野横断的に数を出すなどまとめられないか。</p> <p>また、イベントなどへの「参加」とボランティアの活動などの「参画」を区別して記載できないか。</p>	府民の参加・行動の分野については、取組に参加する府民の数等をアウトカム指標として設定し、複数年サイクルにおいて点検評価を実施しているところ。いただいた意見を参考にし、来年度実施する複数年サイクル点検評価の中でとりまとめたい。
環境情報の発信	取組を実施しているが、大阪府のホームページが、複雑なつくりになっているので、見たいページに辿り着けず、府民にアピールできていない点もある。検索しても、辿り着けないことが多く、改善してほしい。	ご指摘を踏まえ、今後のホームページのキーワード設定方法など検討していく。

○重点分野【低炭素・省エネルギー社会の構築】【健康で安心して暮らせる社会の構築】の点検評価

施策事業名	指摘事項・意見	府の回答
化学物質管理	<p>化学物質の削減量を目標値として設定し、進捗管理を行っているのか。</p> <p>また、進捗状況について想定どおり進捗していると自己評価した理由はなにか。</p>	<p>化学物質は、その種類や有害性の程度が多様であることから、具体的な削減目標量は設定していないが、施策の進行管理を行うために、PRTR法の対象物質の個々の排出量を合計した排出量を指標として用いている。</p> <p>この排出量は、基準年度である2010年度の17,217トンに対し、2014年度は15,017トンに減少していることから、想定どおり進捗していると評価した。</p> <p>なお、PRTR法対象物質全体の取扱量に対する排出量の比は、2010年度の0.43%に対し、2014年度は0.40%に減少しており、このことは事業者による削減努力の結果によるものと考えられる。</p>

(参考) 環境総合計画の進行管理について

- 毎年度サイクルの点検評価
  - ・ 主な施策・事業の年度毎の取組指標（アウトプット）の達成状況を中心に点検評価
  - ・ 重点的な分野を設定し、詳細な点検評価を実施
- 複数年（3～4年）毎のサイクルの点検評価
  - ・ 2020年の目標（アウトカム）の達成に向けた施策の方向や、主な施策等の実施効果の検証を行う
  - ・ 点検評価結果に基づき、計画を柔軟に見直し



環境施策の進行管理に関する PDCA サイクルの概念図